

期限内に忘れずに

2月13日(火)～3月15日(金)

税務課 (88)9124

昨年一年間の所得状況を申告する市・県民税申告相談を行います。申告は市・県民税の算定のほか、社会保険料などの算定の基礎となる大切な手続きです。申告が必要な人は、期限内に忘れずに申告してください。

通知が届かなくても申告が必要な人(下のフローチャートで確認)は、左の表で日程を確認し、申告してください。
e-taxで自宅から確定申告

1月下旬にお知らせ

昨年「市・県民税申告書」を提出した人には、1月下旬に日程を通知します。

所得税の確定申告は、e-taxを用いたオンラインでの申告を推奨しています。国税庁ホームページ「確定申告」をご覧ください。



● 申告相談の日程表

月日	会場
2月	13日(火) 14日(水) 稲田コミュニティセンター
	15日(木) 16日(金) 岩瀬市民サービスセンター
	19日(月) 20日(火) 仁井田コミュニティセンター
	21日(水) 22日(木) 26日(月) 長沼市民サービスセンター
3月	27日(火) 28日(水) 29日(木) 大東コミュニティセンター
	1日(金) 15日(金) 市役所4階「大会議室A～C」

▶土・日曜日、祝日の申告相談はありません
▶期間中は、税務課での申告受け付けはできません
受付時間 午前9時～11時30分、午後1時～3時30分
※夜間の申告相談は行いません。

■ 消防団員を随時募集中

自らの地域は自らが守る これぞ“消防魂”

市民安全課 (88)9133

地域防災の要

市では、消防団員を随時募集しています。消防団員は、市内在住で18歳以上の健康な人であれば、誰でも入団できます。自分たちが暮らす地域を自分たちの力で支えるため、皆さんの入団をお待ちしています。

皆さんの近所や職場にも、大切な地域を守るため、日々活動に当たる消防団員がいます。あなたも消防団の一員になりませんか？



消防団の活動をPRしています(市防災フェア・令和5年9月17日)

消防活動にご協力を
消防団員は、自分の仕事をしながら、火災や風水害などが発生したときに、それぞれの地域で、消火活動や救援活動などに当たっています。昼夜問わず、勤務中などにも出動しなければならぬ消防団員の活動に、ご理解とご協力をお願いします。

消防活動にご協力を

▼入団のメリット
▼消防技術や災害対応の知識が習得できる
▼日常生活の防火・防災意識が高まる
▼業種や世代を超えた団員同士の交流が持てる
▼団員証を提示することで「がんばれ須賀川市消防団応援事業所」のサービスが受けられる

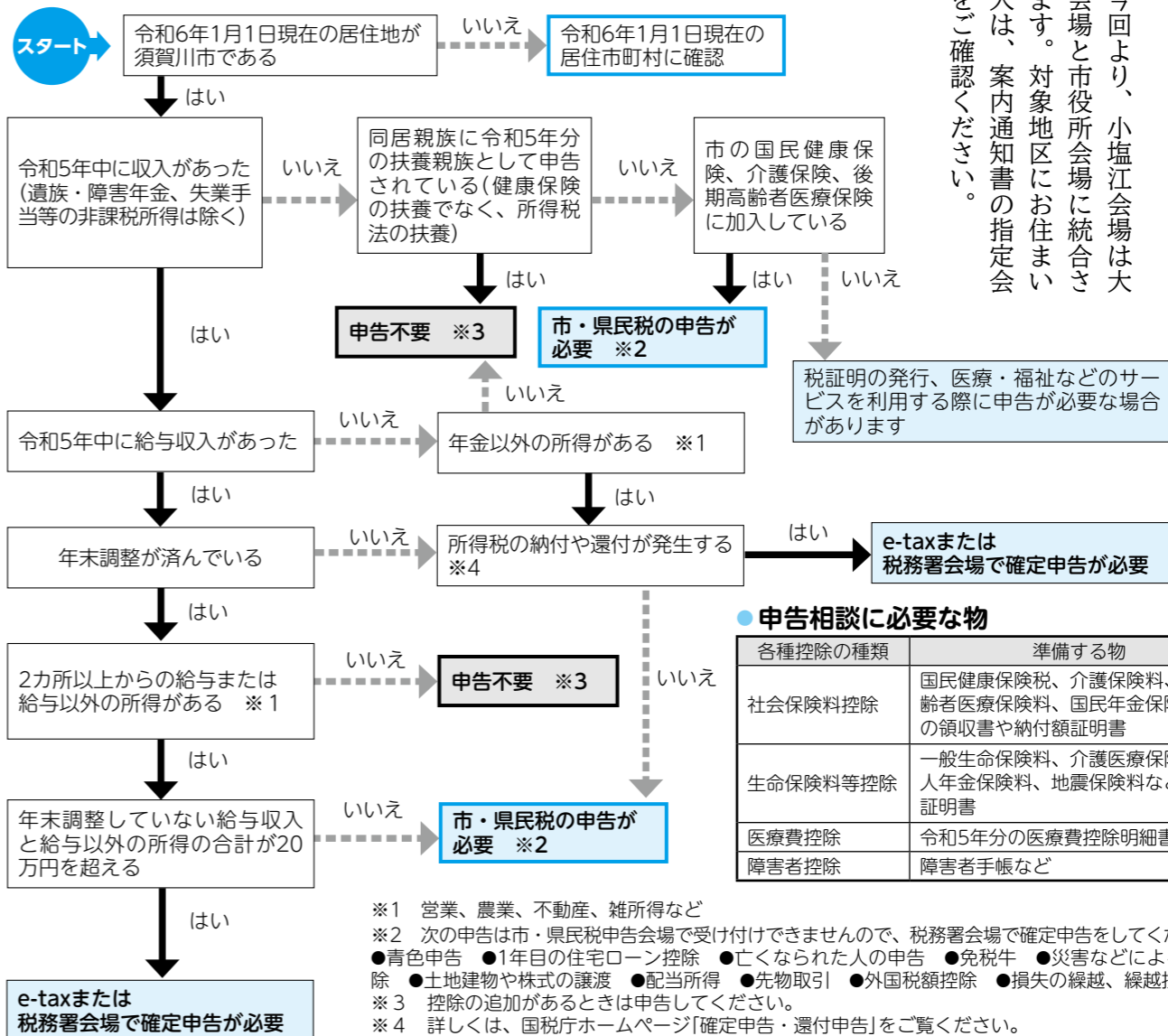


女性団員も活躍しています

小塩江会場の統合

今回より、小塩江会場は大東会場と市役所会場に統合されます。対象地区にお住まいの方は、案内通知書の指定会場をご確認ください。

申告が必要かどうか、フローチャートで確かめてみましょう



● 申告相談に必要な物

各種控除の種類	準備する物
社会保険料控除	国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料などの領収書や納付額証明書
生命保険料等控除	一般生命保険料、介護医療保険料、個人年金保険料、地震保険料などの控除証明書
医療費控除	令和5年分の医療費控除明細書
障害者控除	障害者手帳など

※1 営業、農業、不動産、雑所得など
※2 次の申告は市・県民税申告会場で受け付けできませんので、税務署会場で確定申告をしてください。
●青色申告 ●1年目の住宅ローン控除 ●亡くなられた人の申告 ●免税牛 ●災害などによる雑損控除 ●土地建物や株式の譲渡 ●配当所得 ●先物取引 ●外国税額控除 ●損失の繰越、繰越控除
※3 控除の追加があるときは申告してください。
※4 詳しくは、国税庁ホームページ「確定申告・還付申告」をご覧ください。

消防団員インタビュー



市消防団第10分団の小川潤さんにお話を聞きました

Q 市消防団に入団したきっかけを教えてください。

A 生まれは梅田地区ですが、2つ上の兄が消防団に入っていたので、私には縁がないと思っていました。しかし、結婚を機に横田地区に住むことになったことや、消防団員だった義理の父から「消防団に入れば、横のつながりができる」とアドバイスをもらい、入団しました。

暮らす場所が変わっても、消防団に加入したことで、地域との関わりを円滑に持つことができたのは大きく、普段の生活では、関わりがない方や年齢差がある方ともつながりを持てたことは、消防団に加入して良かったことだと感じています。

Q 小川さんは10年以上の団員歴がありますが、消防団での一番の思い出は何ですか。

A 選手として参加はしていませんが、消防操法大会に向けた早朝訓練ですね。最初は「練習がきつい」と愚痴を言っていたのですが、訓練に真剣に取り組んだ結果、大会後には選手だけでなく、指導いただいた先輩や手伝いをする後輩団員も含めた一体感を得ることができました。つらい練習をみんなで乗り越えて生まれる一体感は最高ですし、この経験は忘れられません。

Q 最後に未来の消防団員に向けて、メッセージをお願いします。

A 消防団の経験は、自分にとってプラスしかありません。消防団は大変そうとか、入団に決心がつかずにいる方には「とりあえず入ってみて」と伝えたいです。

